

令和2年9月11日

「新型コロナウイルスの影響と国への要望に関するアンケート」結果

一般財団法人 食品産業センター
企画調査部

食品産業センターでは、8月5日から8月28日にかけて会員企業を対象に「新型コロナウイルスの影響と国への要望に関するアンケート」調査を実施しました。調査結果について下記の通りご報告します。

【回答企業数 42社】

大手企業(従業員数 300人以上)	37社
中小企業(従業員数 299人以下)	5社

1. 従業員の感染状況について

- ・ 3割以上の企業の従業員に感染者が出ており、製造部門での感染者も出ているが、大半の企業では事業への特に大きな影響はなかった。

2. 製造工場の稼働状況について

- ・ 現時点での稼働状況は、家庭内消費が増加したことによる需要増により、通常よりも稼働率が高い企業が33%ある一方、外食、レストラン、宿泊施設等の業務用需要の減や学校給食向け需要の減、各種イベント・行事の自粛による減等により、通常よりも稼働率が低い企業が31%あった。

3. 原材料の調達の状況等について

- ・ 現在の原材料の調達状況は、69%の企業が「輸入原材料や国産原材料で確保できており、当面不安はない。」としているものの、31%の企業は「当面は大丈夫だが、輸入原材料が多く、世界的な感染拡大による調達不足が懸念される。」とし、原料原産地表示の弾力的運用については、懸念されている企業のほとんどが「調達先の変更が予想できないため、世界的な感染拡大が収まるまでは継続して欲しい。」としている。

4. 売上高と今後の見通しについて

- ・ 現在の売上高は60%の企業が「感染拡大以前より減少しているが、減少は鈍化している。」としているものの、75%の企業が通期では前年を下回る見込みとしており、その内の1/3の企業は前年を大きく下回る見込みとしている。
- ・ 通期では前年を下回る見込みと回答した企業に売上減少を見通す要因を聞いたところ、「外食、レストラン、宿泊施設等の業務用需要の回復は大きく見込めない。」をはじめ「インバウンド需要の減」など様々な要因が見られた。

5. コロナウイルスの感染拡大下における不公正な取引の要請について

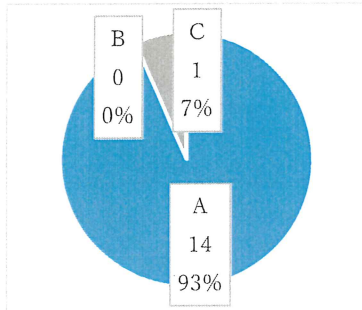
- ・ 一時欠品状態だった商品のセンター在庫の返品要請等不当だと思われる返品 of 要請が3件、需要急増にも拘わらず、発注数への全量納品の要請、補填要請等欠品に伴う不当だと思われる要請が2件あった。

6. 経営改善に向けての国への要望事項について

- ・ 補助金関係については、回答した企業は少なかったが6割が「持続化給付金、雇用調整金等の経営支援の継続、拡充」を要望している。
- ・ 税制関係についても、回答した企業は少なかったが5割が「消費税の減税、納税猶予」を要望している。

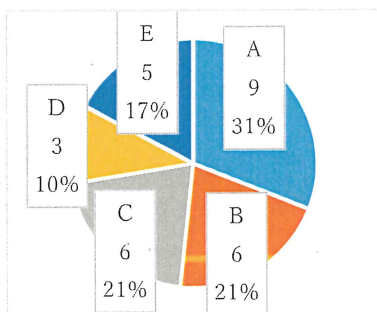
③①で需要増との回答をされた企業にお伺いします。需要増の要因、分野は何でしょうか？（複数回答可）

- (A) 家庭内消費が増加した。
- (B) 通信販売、インターネット販売が増加した。
- (C) その他()



③①で需要減との回答をされた方にお伺いします。需要減の要因は何でしょうか？（複数回答可）

- (A) 外食、レストラン、宿泊施設等の業務用需要の減。
- (B) 学校給食向け需要の減
- (C) 各種イベント・行事の自粛による減
- (D) インバウンド需要の減
- (E) その他

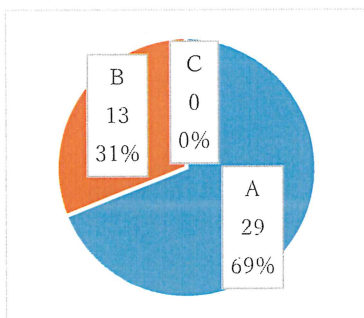


【その他の内容】・外出自粛による需要の減

3. 原材料の調達状況等について

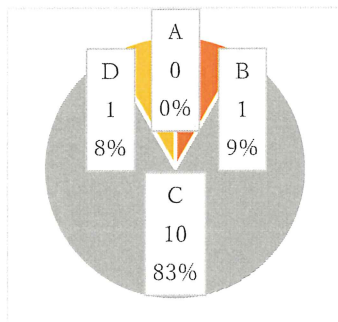
①現在、原材料の調達はどのような状況ですか？

- (A) 輸入原材料や国産原材料で確保できており、当面不安はない。
- (B) 当面は大丈夫だが、輸入原材料が多く、世界的な感染拡大による調達不足が懸念される。
- (C) 既に主な原材料の輸入先を変更しており、今後も感染拡大による調達不足が懸念される。



②(B)(C)とお答えの方、現在行われている原料原産地表示の弾力的運用について、どう考えますか？

- (A) 今後は国内原料の手当て等により対応するので、弾力的運用は必要ない。
- (B) 表示の切替により対応するが、在庫の問題もあり、年内は継続して欲しい。
- (C) 調達先の変更が予想できないため、世界的な感染拡大が収まるまでは継続して欲しい。
- (D) その他()



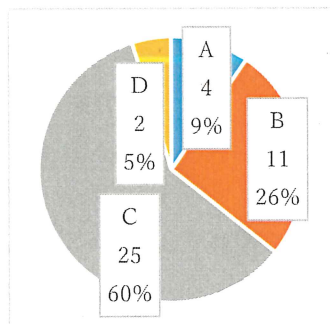
【その他の内容】

- ・弾力的運用は有効だが、東京都条例がある事で運用は難しい。

4. 売上高と今後の見通しについてお聞きします。

①現在、売上高の状況はどうなっていますか？

- (A) 感染拡大以前より増えている、引続き堅調である。
- (B) 感染拡大以前より増えているが、増加は鈍化している。
- (C) 感染拡大以前より減少しているが、減少は鈍化している。
- (D) 引続き、感染拡大以前より大幅に減少している。

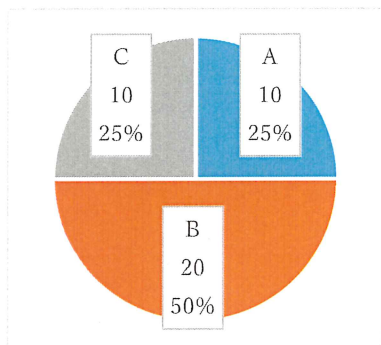


【コメント】

- ・内食需要増による家庭用製品の販売増も、外食需要の減少による外食用・業務用製品の販売減で相殺している状況にある。
- ・市販用は大幅な需要増。業務用は大幅な需要減。
- ・物がほとんど動かない為に自社倉庫では足りず、倉庫を借りている状況。(売上減と倉庫料増)

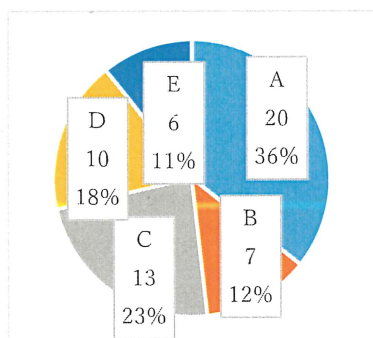
②今後の見通しはどうでしょうか？

- (A) 引続き堅調で、通期でも前年を上回る見込み。
- (B) 堅調であったが、今後、売上は減少し、通期では前年を下回る見込み。
- (C) 引続き売上は減少し、通期でも前年を大きく下回る見込み。



③②で(B)(C)とお答えの企業についてお聞きます。売上減少を見通す要因は何でしょうか？(複数回答可)

- (A) 外食、レストラン、宿泊施設等の業務用需要の回復は大きく見込めない。
- (B) 学校給食需要はすぐに回復しない。
- (C) 各種イベント・行事の自粛は続く。
- (D) インバウンド需要の回復はすぐに見通せない。
- (E) その他()



【その他の内容】

- ・海外からの旅行客が戻らないと難しい。
- ・テレワークの増加により、コンビニエンスストア向けの業務用需要の回復が見込めない。
- ・消費者の購買意識の鈍化、企業の在宅勤務の定着化
- ・生活スタイルの変化
- ・外出自粛による需要の減

5. コロナウイルスの感染拡大下における不公正な取引の要請について(複数回答可)

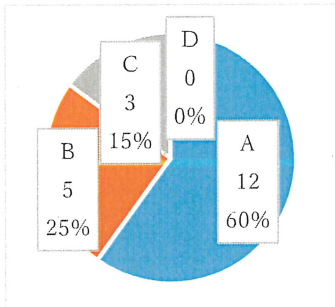
()内に具体的事例をご紹介下さい。

- (A) 欠品に伴う不当だと思われる要請があった。()
 - (B) 不当だと思われる返品 of 要請があった。()
 - (C) 不当だと思われる協賛金負担の要請があった。()
 - (D) 不当だと思われる従業員派遣の要請があった。()
 - (E) その他()
- (A)・需要急増にも拘わらず、発注数への全量納品の要請。
 ・一部得意先から欠品に伴う要請(売上補填・欠品分のデータ料補填)があったが、対応していない。
- (B)・一時欠品商品の量販店センター在庫の返品要請。
 ・一部ドラッグストアから要請があったが断った。
 ・サンプル提出し先方の了承も得た規格の商品が、規格が違うとの理由で大手外食チェーンから返品。

6. 経営改善に向けて、国への要望事項はありますか？

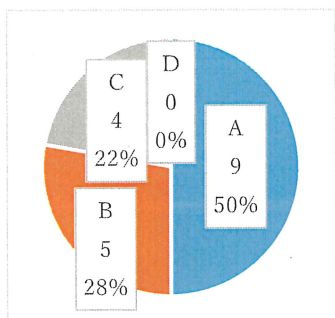
①補助金関係

- (A) 持続化給付金、雇用調整金等の経営支援の継続、拡充
- (B) 政策金融公庫の無利子・無担保保証等の金融支援措置の継続、拡充
- (C) ものづくり補助金等の施設整備補助の継続・拡充。
- (D) その他()



②税制関係

- (A) 消費税の減税、納税猶予
- (B) 特定農産加工を始めとする、政策的な各種特例措置の継続、新設、
- (C) 消費税転嫁対策特別措置法の延長による税抜価格表示制度の恒久化
- (D) その他()



③その他

補助金、税制関係以外で、国への要望があれば具体的にご記入ください。

- ・食料安全保障の実現に向けて、より一層6次産業化を推進して頂きたい。
- ・輸入原材料の遅延による影響は非常に大きい。諸外国との調整が難しいようであれば、輸入関税に引下げ等を検討してほしい。

【参考:アンケート回答企業の業種】複数回答

肉製品(4)、乳製品(3)、水産食料品(3)、野菜缶詰・果実缶詰・農産保存食料品(3)、野菜漬物(1)、
醤油(2)、ソース(3)、食酢(1)、その他調味料(11)、精糖(2)、精穀・製粉(3)、パン(2)、菓子(8)、
動植物性油脂(3)、めん類(6)、冷凍調理食品(7)、惣菜(4)、レトルト食品(15)、その他食料品(13)、
コーヒー(1)、その他飲料(5)